

回生 ニュース

K a i s e i N e w s



社会医療法人 峰和会

62号

2012.1月発行

発行/社会医療法人 峰和会
編集/鈴鹿回生病院
所在地/鈴鹿市国府町112番地1
TEL / 059-375-1212
FAX / 059-375-1717
URL / <http://www.kaiseihp.com>
編集協力 / TCknagoya



社会医療法人 峰和会
理事長 長谷川 静生

新たな一歩

昨年のかねてより申請中であった社会医療法人の認可を三重県よりいただきました。社会医療法人は社会性、公益性の高い医療に取り組んでいる民間医療機関に認められている制度で、当病院が一般病院として県下初の認可施設となります。救急医療の分野での申請をいたしました。これまでの救急医療に対する活動を評価していただいた感謝の気持ちと、一方で今後の地域医療に対する責任の重さを再認識したところです。そしてこれを機に法人名を「峰和会」と変更し、新たな一歩を踏み出すことといたしました。

このたび三重大学より腎臓専門医の派遣を受けることが決まり、現在、4月に腎臓病センター開設に向けて準備をしているところです。急性期の腎疾患は勿論の

こと、高齢化が進むなか慢性疾患に伴う腎臓病の患者は増加の一途をたどっています。附属施設として人工透析センターも同時に整備する予定ですが、急性期医療の治療に合併する急性腎不全の対応にも欠かすことのできない施設であり当院でこれまで各科待ち望んでいた分野であります。優秀な人材に集まっていた是非地域に誇れる質の高い施設にしたいと楽しみにしています。

昨年3月東北地方を未曾有の大震災が襲いました。自然の前には人間がいかに無力かということを思い知らされた出来事でありました。被災された方々には心よりお見舞いを申し上げます。生活基盤の壊滅的惨状、特に医療の崩壊を目の当たり

にしますと人間らしく生きるためには「衣」「食」「住」に加え「医」の必要性について改めて痛感いたしました。同時に今後東海地方でも発生が予想される地域災害に対して、基幹医療機関としての危機対応いわゆるBCP（企業継続プラン）について行政とも連携しながら真剣に考えなくてはならないと思っています。

わが国ばかりでなく世界的規模で大きな地殻変動が、ゆっくりとしかし確実に起こりつつあるように思います。このような不確実な時代だからこそ確かなものを見据える力が求められます。法人としても忙しい年になりそうですが実りある一年になりますよう歩みを止めずに進んでまいります。

平成24年 両院長より新年のご挨拶



鈴鹿回生病院
院長
田中 公

昨年は未曾有の東日本大震災があり、多くの方が被災されました。原子力発電所の放射能汚染も今なお終息せず、心配な状態が続いています。そんな中、全国から被災された方々にさまざまな支援が行われましたが、当院からも医師、看護師、薬剤師、事務員からなる医療チームを岩手県の陸前高田市へ2チーム派遣いたしました。まだまだ大変な状況ですが、一刻も早く復興されますことを祈っております。

これからの日本は、少子高齢化がますます進み、現在はおおよそ4人に1人が65歳以上ですが、20年後には3人に1人が65歳以上となると予想され、超高齢化社会を迎えます。そして三大疾病（がん・心臓病・脳卒中）の中でも、「がん」が最も多くなると危惧されており、3人に1人が「がん」に罹るようになると言われていています。そんな中私たちも将来を見据えているいろいろな対策を行っています。昨年は「がん」に対応できる病院として、三重県から「がん診療連携推進病院」の指定を受けました。これを機に院内でもがん診療連携推進委員会（がん治療に関する検討会）を定期的で開催し、職員の「がん」に対する知識や技量のレベルアップを図っています。質の高い医療の提供のほかに、当院は医療に従事する人々を教育し、優秀な人材に育成することも行ってまいります。中でも若い医師を育てる臨床研修指

定病院として、毎年研修医を受け入れていますが、今年度は定員枠一杯の5名の初期研修医が内定しました。良き医師になるよう皆で指導してまいります。

医療は日々進歩していますので、最新の診断と治療が行えるように、計画的に医療機器の更新を行っています。一昨年は最新の3テスラMRIを導入しましたが、今年は血管の狭窄や閉塞を診断し、カテーテルを使って血管の治療（特に脳や心臓）を行うのに必要な血管造影装置を最新鋭のものに更新する予定です。

今年も、地域の基幹病院として急性期医療の提供と高度な専門的医療を行うことを目標に掲げ、皆さんに満足していただけるよう日々努めてまいります。

昨年多くの方の患者さんに受診していただきました。中でも再来して受診していただく患者さんは本クリニックに対する信頼の結果であると感謝しております。本クリニックは病院と診療所を継ぐ掛け橋として専門性の高い外来を充実させ、少しでも地域医療に根付いた貢献を目指しております。この方針に沿って新たに開設した「嚥下障害外来」「物忘れ外来」「禁煙外来」も軌道に乗ってまいりました。例年課題である「待ち時間短縮」についても、少しずつではありますが、改善してきたような手応えを感じています。

今年の課題は病診連携の強化です。専門性の高い医療を提供することによって診療所の先生方の信頼を得ねばなりません。そのためには、医療の質を担保するシステム作りが必要であると考えています。さらに患者さんを温かく迎える体制、すなわち「接遇」が大切です。病院は病におかされた体を治療する場所ですが、同時に傷ついた患者さんやご家族の心を癒やす安らぎの場所でもなければならぬと考えています。

昨年のご意見箱に多くの患者さんからの感謝のお言葉を頂戴いたしました。このようなお言葉は働く職員一同にとって、何よりの励みとなります。「優しくしてもらって有り難う」という患者さんからのお気持ちが今後もっと増えるよう満足度調査で確認をしていきます。

体と心の医療を質の向上に向け、職員一同研鑽してまいります。患者さんには、お体の不安など、何でもお気軽にお尋ねいただき、安心して受診してください。



鈴鹿回生病院附属クリニック
院長
坂倉 康夫

連携医療機関紹介

松岡ハートクリニック



▲ 院長の松岡正紀先生

地域完結型医療をめざします。

松岡ハートクリニックは、近鉄伊勢若松駅の東側徒歩3分ほどの所にあります。広々とした清潔感ある待合には、奥様がお作りになったパンフラワーが飾られ、あたたかい雰囲気を醸し出しています。

～パンフラワー～



院長の松岡正紀先生は昭和57年（1982年）に三重大学をご卒業後、三重大学附属病院、山田赤十字病院、浜松医療センターなどの医療機関で胸部心臓血管外科医として研鑽をつまれ、平成8年（1996年）この地に開業されました。当時、この鈴鹿

市若松周辺の地域には、クリニックが全くなかったため、ここで完結できる医療の提供をめざしたいと志され、この地を選ばれたそうです。勤務医時代のご専門「胸部心臓血管外科」とは主に、肺・心臓・血管を扱う領域ですが、なかでも先生は心臓を専門とされておりハートクリニックというネーミングもこうした背景から生まれました。現在は心臓だけでなく、内科的・外科的治療はもちろん、食事療法、リハビリテーション、在宅医療も積極的に取り組んでおられます。また、診断や治療が困難な場合でも鈴鹿回生病院や鈴鹿中央総合病院などの大きな病院でスムーズな医療を受けていただけるよう病診連携にも積極的に取り組まれ、地域完結型医療をめざされています。

いち早くデジタル化を実現

「当院は三重県ではデジタル化が早かったんですよ」とおっしゃる先生。厚生労働省の計画では2006年までに6～7割の医療機関で電子カルテの普及を見込んでいましたが、実際はその当時に数パーセントの普及率だったそうです。そうしたなかで松岡ハートクリニックが2002年に電子カルテを導入されたことは、かなり早いと言えるでしょう。次いで心電図、エコー、内視鏡、レントゲン画像もデジタル化され現在では紙ベースのものは一切使用されていないとのこと。電子化により、長期間にわたって医療データが保管できるので、患者側も安心です。

健康について

健康の為に気をつけていることを伺うと、普段座ってばかりなので日曜だけでも歩くように心がけていらっしゃるとのこと。ウォーキングに出かけると、一万歩以上は歩かれるそうです。鈴鹿から車で1～2時間で行ける先生お気に入りの散歩道もホームページで紹介されていますの

DATA

TEL 059-385-1056

住所

鈴鹿市若松北二丁目3-1

診療科目

●内科 ●外科 ●循環器科 ●呼吸器科 ●消化器科 ●リハビリテーション科

診療時間

午前／9時00分～12時00分
午後／3時00分～6時30分

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	○	×
午後	○	○	○	×	○	×	×

休診日

木曜午後、土曜午後、日曜、祝日

ホームページ

<http://www7.ocn.ne.jp/~matsuoka>



で、ぜひ皆さんも出かけてみてはいかがでしょうか。とはいえ、この地域には90歳以上でとてもお元気な方がたくさんいらっしゃるそうで、先生はそんな方々の人生に共通する『健康であるための基本10ヶ条』をホームページで紹介されています。そのなかの第10条に「安心して体を任せられる主治医がいる」とあります。そのお言葉どおり「安心して任せられる主治医」として、今後も活躍されることでしょう。



福祉用具 シルバーカー

「外出はしたいけど、最近足元が弱くなり、杖だけでは心配」という人にオススメなのがシルバーカー。籠やイスが付いているものが多いので、買い物の荷物を入れたり、歩き疲れた時に座って休むこともできます。



リハビリテーション課
理学療法士
南 隼人

使い方POINT

point 1

ハンドルの高さは、肘を軽く45° ぐらいに曲げた位置

point 2

無理のない姿勢でブレーキを操作できる



point 3

歩くときに後輪やフレームにつま先が当たらない

! 下記のような方は、シルバーカーの利用は危険を伴うためオススメできません !

- 麻痺や骨折などで片手が不自由な人
- 手や指に不自由があり、ハンドルやブレーキの操作がうまくできない人
- 脚の力や身体のバランスが悪く、歩くことができない人

発信@

栄養管理室

管理栄養士
村上 清香



●鶏肉

鶏肉は牛肉や豚肉に比べると、低脂肪で、低カロリーが特徴です。さらに他の肉とは違い、脂の部分と赤身の部分に分かれていることから、皮を取り除くことで容易にカロリーをカットすることができます。今回のレシピでは皮付きを使用しましたが、皮を取り除くと、約マイナス70kcalとなります。

●ポイント

「タンドリーチキン」の「タンドリー」はチキンを焼く道具の「タンドール」からきています。作り方は色々ありますが、今回はフライパンやオーブンではなく、魚焼きグリルを使用しました。

魚焼きグリルは油を使用せず調理ができ、さらに余分な脂が落ちてカロリーカットできる優れたものです。ぜひ活用してみましょう。

鶏肉 ピックアップ食材

おせち料理から目先を変えて
タンドリーチキンは
いかがですか??

タンドリーチキン



【材料】4人分

- 鶏肉 80g×4
- 塩 2g
- こしょう 適量
- カレー粉 大さじ1
- ターメリック 適量
- にんにく 1片
- しょうが 適量
- プレーンヨーグルト 60g
- レモン汁 小さじ1

【作り方】

- ① 鶏肉は軟骨やすじを取り綺麗にする。ところどころ切れ目を入れる。(味をしみこみやすくするため)
- ② しょうがはおろし、にんにくはみじん切りにする。
- ③ ①を塩・こしょうでよくもむ。
- ④ 全てを混ぜ半日漬け込む。(1日漬け込むとより味がしみこむ)
- ⑤ 魚焼きグリルで皮から焼く。

<皮つき肉使用>

エネルギー	181kcal
たんぱく質	13.8g
脂質	12.0g
塩分	0.6g

<皮なし肉使用>

エネルギー	113kcal
たんぱく質	15.9g
脂質	3.9g
塩分	0.7g

健康ひろばをご存じですか？

当院ホームページの健康ひろばコーナーでは、毎日の健康生活の中で、知って役に立つ情報を「栄養管理課、薬剤管理課、臨床検査課」それぞれの分野から、わかりやすく紹介しています。皆さん是非ご利用ください。

step 01 病院ホームページのトップからスクロールすると下記のトピックスコーナーがでできます。



step 02 次に、健康ひろばについてのボタンをクリック



step 03 以下の3分野のページが立ち上がりますので、知りたい分野をクリック



step 04 ここでは、栄養管理課を選んだ場合を想定します。



栄養管理課からは、当院の管理栄養士が教える「健康と栄養のバランス」にいいレシピを2ヶ月毎に更新しています。

step 05 選んだレシピが表示されます。



医志蘇通 C o l u m n

ご意見にお答えします。

Q 会計がクレジットカードで支払えるのに、看護師の方は知らなかった。訊いたら「払えない」とのことだったので、知っておくべきだと思う。

A ご意見ありがとうございます。不快な思いをさせ申し訳ございませんでした。スタッフへの周知を徹底したいと思います。

◆ お褒めの言葉をいただきました ◆

回生キッズのかわいい子たちの工作や絵の作品、いつも楽しみにしています。いつもお世話になっている病院でお仕事されている皆さんの子どもさんたちとのこと。よけい親しみがわきます。元気に大きくなってください。いっぱい作品を見せてください。

A 温かいお言葉ありがとうございます。子供たちも、働く職員たちも大変よろこんでいます。この掲示をきっかけに、作品を飾る掲示板も患者さんからのご厚意で作っていただきました。今後も引き続きご鑑賞ください。

第 亀山市脳卒中 3 市民講座開催 回 ～亀山市文化会館にて～

去る、11月20日(日) 亀山市文化会館にて第3回亀山市脳卒中市民講座を開催いたしました。当日は300名を超える大勢の市民の皆さまにご参加いただき、当院金丸副院長をはじめ他3名の医師により脳卒中に関する講演を行いました。



鈴鹿少年野球教室

今年も鈴鹿少年野球教室が 12 月 3 日(土)に開催されました。23 チーム約440名の子供達が参加。「天地会」(阪神タイガースOB)のメンバーである吉田義男元監督らによる指導を受け、真剣に取り組んでいました。



鈴鹿シティマラソン

12月18日(日)第14回鈴鹿シティマラソンが鈴鹿サーキットにて行われました。当日は医科学相談コーナー、救護班を設置して当院から専門医師をはじめ多くのスタッフを派遣し走者のサポートを行いました。



第8回健康セミナーを開催しました

11月19日(土)開催の健康セミナーでは「若さを保つには」と題し、医師講話や運動実技、婦人科ミニ相談や簡易骨密度測定等のイベントを行いました。多数の皆さんのご参加、ありがとうございました!



かいせいきっず info

今回の作品はクリスマスツリーです。小さい子供はシールを使い、大きな子供はのりを使って模様付けした作品です。



病院のボランティアの方に毎週美しく生けていただいております。(病院文庫)

編集後記

今回は「新年のごあいさつ」を中心に、医療連携紹介などをお送りいたしました。皆さんから本誌へのご意見・ご感想・ご要望等がございましたら、広報委員会までお寄せください。

鈴鹿回生病院 広報委員会
〒513-8505 三重県鈴鹿市府府町112番地
TEL059-375-1212
✉ mailinfo@kaiseihp.com

今号の **お知らせ**
クリスマスコンサート

12月10日(土)恒例のクリスマスコンサートを開催しました。職員によるハンドベル演奏、院内サークル「響」による三味線演奏や院内保育所「回生キッズ」のかわいい子供達によるダンスが披露されました。また、今回はゲストコンサートとして「フルール」さんにご参加いただき、美しいフルート、キーボードの音色がクリスマスらしさに彩りを添えてくれました。





Suzukakaisei Hospital Christmas Concert

開設の理念

生命への奉仕

病院の方針

- ▶ 地域の基幹病院として皆さんの医療と健康の増進に貢献します
- ▶ 患者さんの生命と個人の尊厳を守ります
- ▶ チーム医療を推進し 患者さん中心の医療を行います
- ▶ 医療の質を向上させ 時代の要請する医療水準を保ちます

私たちの目標

- ▶ 誰もが適切な医療を平等に受けられるようにします
- ▶ 診療内容・医療情報を適切に説明し 患者さんが最適な医療を選択できるようにします
- ▶ 医療環境を整備し 快適に診療が受けられるようにします